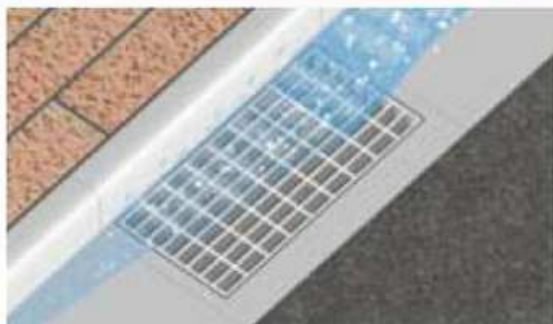


技術概要書（様式）

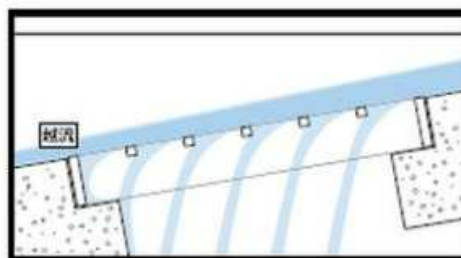
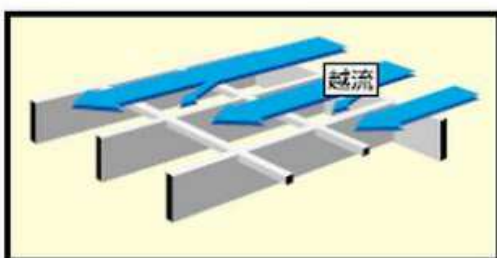
※別紙2

技術分類	安全 <input checked="" type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 <input type="radio"/> （該当する分類に○を付けてください）																				
技術名称	越流抑制グレーチング ヨドウォーター フォールズ	担当部署	グレーチング部 管理グループ																		
NETIS登録番号	KK-060045	担当者	大森 貞之																		
社名等	(株)淀川製鋼所	電話番号	0725-32-8881																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>従来のグレーチングでは、道路上の排水量が多く、速くなると、排水がグレーチング柵内に落下せず、柵を超えて流れる「越流」が発生して冠水の原因にもなっていました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>グレーチングへガイドスロープを設け、排水の流れによって負圧を発生させて排水を引き込む事ができるので、画期的な集水効果を得られました。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>越流現象が起きているグレーチングをヨドウォーターフォールズに交換するだけで、越流現象を抑える事ができます。また、越流を想定したグレーチングよりも小型化や柵間隔を広げるなどのコストダウンも図れます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>細目を除いて、ほとんどの鋼製グレーチングで可能ですが、事前にお問い合わせください。</p> <p>5. 活用実績(2012年度を抜粋)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>国の機関</td> <td>5 件</td> <td>(九州</td> <td>4件</td> <td>、九州以外</td> <td>1件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>80 件</td> <td>(九州</td> <td>15件</td> <td>、九州以外</td> <td>65件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>4 件</td> <td>(九州</td> <td>1件</td> <td>、九州以外</td> <td>3件)</td> </tr> </table>			国の機関	5 件	(九州	4件	、九州以外	1件)	自治体	80 件	(九州	15件	、九州以外	65件)	民間	4 件	(九州	1件	、九州以外	3件)
国の機関	5 件	(九州	4件	、九州以外	1件)																
自治体	80 件	(九州	15件	、九州以外	65件)																
民間	4 件	(九州	1件	、九州以外	3件)																

従来グレーチングの場合



水理試験状況 (勾配10% 3ℓ/s)

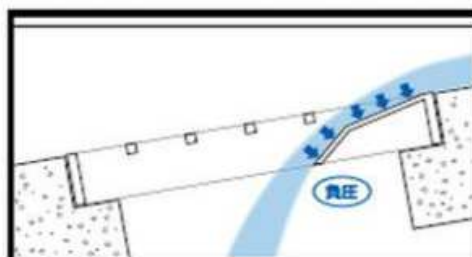
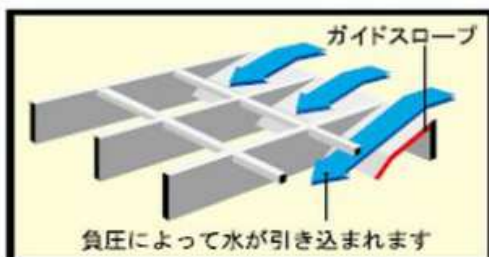


従来のグレーチングでは水は**自由落下**の状態となり、流量が大きくなるとその落下距離は伸びます。このことから、流速が上がれば**柵内に落下しない越流現象**が起こります。

ウォーターフォールズの場合



水理試験状況 (勾配10% 3ℓ/s)



ウォーターフォールズでは、自由落下した水は**ガイドスロープ**を設けることにより、**負圧**(大気圧以下)が発生し、柵内に引き込まれます。